

## バス路線等公共交通再編調査 ～近畿大学と連携した実態把握～

自家用車の普及や人口減少等により、路線バスなどの公共交通を現状のまま維持することは困難な状況にある。そのため、2地域において、近畿大学と連携し公共交通の利用状況などの実態調査を実施する。

### 1 目的

生活交通のみならず、観光面での利活用も視野に入れ、地域特性に応じた新しい交通モード(交通システム)を検討する。市民生活に必要な移動手段の確保に努める。

#### 《参考》

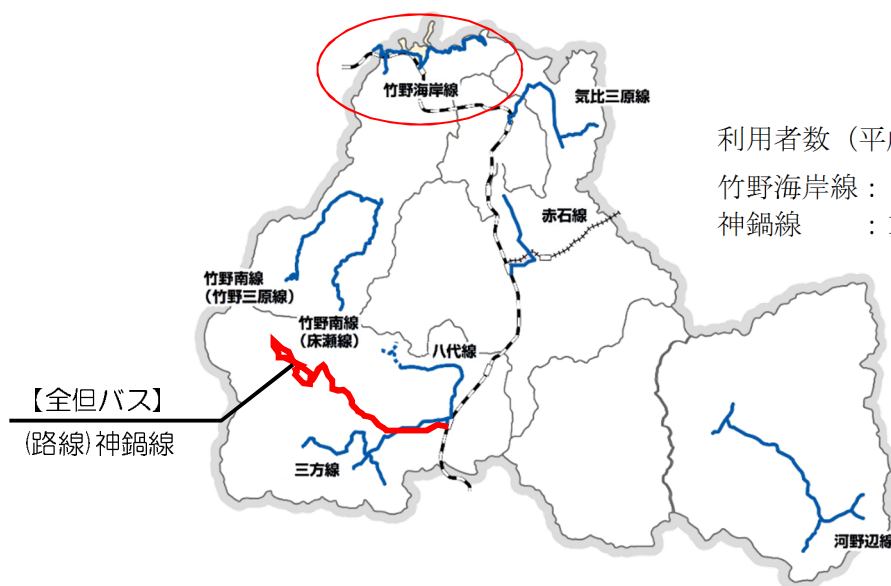
#### 主な路線バスの再編等

- 平成15年11月～ 市街地循環バス「コバス」を運行
- 平成20年10月～ 全但バス(株)の休止路線を中心に市営バス「イナカー」を運行
- 平成22年11月～ 地域主体交通「チクタク」を運行
- 平成23年10月～ 全但バス(株)が神鍋線で「上限200円バス社会実験」を開始
- 平成29年10月～平成30年9月  
デマンド型交通サービス実証実験(城崎町結・戸島・楽々浦・飯谷)

### 2 調査概要

#### (1) 調査路線

- ア 竹野地域(市営バス「イナカー」竹野海岸線)
- イ 日高地域(全但バス路線 神鍋線)



#### (2) 調査体制

近畿大学への業務委託〔新井圭太准教授(交通経済学)、ゼミ所属学生23人〕

#### (3) 委託期間

平成31年3月末まで

### 3 利用実態調査（夏期）

#### (1) 調査期間

8月3日（金）～5日（日）

#### (2) 調査内容

##### ア 竹野海岸線

(ア) 乗り込みOD調査<sup>【※1】</sup>

【※1】 交通機関に乗り込み、人や車あるいは物資の移動の起点(origin)と終点(destination)を、移動の目的や交通手段などとともに把握する調査

(イ) 観光客等の意識調査

交通結節点である竹野駅や竹野浜等で、来訪者に二次交通<sup>【※2】</sup>の必要性等についてヒヤリングを行う。

【※2】 拠点となる空港や鉄道の駅から観光地までの交通のこと。または、複数の交通機関等を使用する場合の2種類目の交通機関

(ウ) 観光事業者の意識調査

二次交通を整備する場合の協力体制などについてヒヤリングを行う。

##### イ 神鍋線

(ア) 乗り込みOD調査

### 4 全体スケジュール

#### (1) 実施済み調査等

##### ア 第1回地域ワークショップ

地域の代表的な意見の聴取(住民・観光事業者)

##### イ 住民アンケート

##### ウ 第2回地域ワークショップ

アンケート結果の報告など

#### (2) 今後の予定

##### ア 利用実態調査（夏期）

乗り込みOD調査等

##### イ 第3回地域ワークショップ

実態調査を踏まえ地域住民と意見交換

##### ウ 利用実態調査（冬期）

##### エ 方向性の決定

##### オ その他

平成31年2月を目途に、近畿大学の教員及び学生らが調査結果を地域に報告する。

### 5 調査結果に基づく検討（例）

- (1) 地域にある車両(マイクロバス等)のシェアリング
- (2) ITを活用したデマンド運行
- (3) 地域住民等によるドライバーの可能性
- (4) 既存バス路線の運行計画の最適化 など

〔問合せ〕 豊岡市都市整備部都市整備課 TEL0796-23-1712(直通)